

# 授業科目 福祉用具プランニング演習

【担当教員名】 藤枝 温子、加島 守、蛸名 真知子		対象学年	4	対象学科	義肢
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	○		○	
【概要・一般目標：G10】 本科目は、義肢装具自立支援学科専門カリキュラムにおける福祉用具系科目の集大成である。学生はこれまで学んだ福祉用具に関する知識と技術を統合し、対象者の個々別の条件に合致した福祉用具の提供を行えるようになるために、講義および演習を通じて実践的な福祉用具プランニング技術を身につける。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 福祉用具を活用した自立支援・介護軽減のプランニングができる。 2. 福祉用具を含んだ住宅改造プランニングができ、簡単な図面が書ける。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	福祉用具の提供、相談技術			1	講義
2	福祉用具プランニングの理解			1	講義
3	福祉用具プランニングの実際			1	講義
4	福祉用具プランニングの実際（演習）			1	演習
5	認知症高齢者への対応			1	講義
6	最新の福祉用具、関連情報、制度			1	講義
7	住宅改造各論			1,2	演習
8	福祉用具プランニング演習			1,2	〃
9	〃			1,2	〃
10	〃			1,2	〃
11	〃			1,2	〃
12	〃			1,2	〃
13	〃			1,2	〃
14	〃			1,2	〃
15	まとめ（到達度評価）			1,2	質疑応答
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		福祉用具プランナーテキスト	財団法人テクノエイド協会	(株) サンワ	8,400 円
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 以下、二項目によって総合的に評価する。 1. 演習への積極性 2. 筆記試験			【履修上の留意点】 最終筆記試験はテクノエイド協会による「福祉用具プランナー資格試験」とする。 当該試験合格者へは、卒後二年間の臨床経験を経た後に『福祉用具プランナー資格』が与えられる。		